

支援事例

商工会名	益城町 商工会	氏名	鈴木寛明	情報開示の可否	可
支援テーマ	創業	題名	遊休資産の付加価値アップで地域活性化計画		
	地域資源活用・新連携				

<支援企業の概要>

事業所名	PRIVATE CAMP SITE MANTEN	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	2025年3月1日
業種	宿泊業	うち家族従業員	0 人		業歴	

○企業概要

令和7年3月創業予定。益城町にてオートキャンプ場開業に向けて準備を進めている段階であるが、現在、代表者は民間企業に勤めており開業が整った時点で約40年間務めた会社を退職し個人事業主として開業する予定である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

数年前から相続した約300㎡の土地でキャンプ場を新設したいと商工会へ相談があった。ヒアリングの中から益城町独自の補助金である益城町起業創業事業費補助金の申請検討を勧め伴走支援を行っていくこととなった。

【支援課題・支援計画】

- (支援課題) ビジネスモデルの確立
- (短期計画) 創業計画書の作成支援
- (中長期計画) 新規顧客の獲得と認知度の向上
- (現状分析)

- ・強み→近隣に競合が少ない。1日1組の限定利用で完全な非日常を体験できる。
ドッグランの併設がある。空港が近い。見晴らしが良くSNS映えの写真が撮れる。
- ・弱み→事業の経験が無い。スーパーやコンビニが遠い。
- ・機会→周辺人口の増加とアウトドア用品の需要拡大。
- ・脅威→天候に左右される。

○支援内容および支援後の状況・効果

フェーズ1 益城町起業創業事業費補助金申請支援

事業計画書申請に向けて起業の動機について深く掘り下げ、オートキャンプ場という事業を選んだ背景や、この事業を通じて実現したい目的を明確化した。同時に、競合他社の分析を行い、顧客ニーズの把握や自社のキャンプ場ならではのコンセプト及びターゲット層の設定、差別化戦略の構成を図っていった。特に自然と一体化した周りの目を気にしない心身ともにリフレッシュできるプライベートキャンプ施設という新しいビジネスモデルの構築に繋がった。

また、予定していたキャンプ場の土地の地目が農地であったことから地目変更の手続き方法についても助言し、併せて必要な各種許認可や関連法規等、課題の整理、実施スケジュールの確認を行った。

資金計画については初期投資額や運営費、収益の見込みなどを具体的に数値化し事業の採算性について検討を図り、収支予算書への落とし込みを行った。

(進捗・成果)

- 無事に採択を受け、現在計画通り補助事業を実施中である。
- 進行状況の把握に努め寄り添った支援を継続していく。

○今後について（目標や課題など）

定期的な巡回で信頼関係の構築に精進し会員加入促進へ強化を図っていく。また、税務相談や経理関係についても対応を行っていきたい。